

### 3市が力を合わせて実現する新しい防災体制

共同運用により、情報の一元化や最新のシステム導入等を行うことでより高度な防災体制を効率的に構築し、市民生活の安全を守ります。

#### 災害対応力の向上

●災害情報や出動状況の一元管理により、火災や救急等が頻発した場合や、豪雨災害などの広域的な自然災害に対し、市域を越えて相互に応援出動することで迅速な対応が可能になります。



●指令センターが山口市役所本庁舎（山口総合支所）内にあることで、大規模災害等の発生時には、同じ庁舎内にある災害対策関連部署と緊密に連携し、迅速な初期活動や応急対策が可能になります。

●音声による通報内容を会話形式で視覚化することができる「音声認識システム」（左の写真）や通報者のスマートフォンを介して傷病者や現場の状況を確認することができる「Live119」（下記



参照）、より高い精度で場所の特定ができる最新の検索システムなどを導入することで、現場の状況把握のスピードと正確性を高め、通報者への助言をより効果的に行えるようになります。

●119番通報の方法はこれまでと同じで、全く変わりません。火事やけが、病気で倒れている人を見つけたら、落ち着いて119番通報をお願いします。

#### 組織体制の強化

●3市の消防本部の人員を指令センターに集約することにより、専任の職員が24時間体制で指令管制業務を行えるようになります。

#### 行政サービスの効率化

●3市共同でシステムの構築や維持管理をすることにより、単独で整備する場合と比較し、コストを抑えた、効率的な運用ができます。



## 市民生活の安全を守る取り組み 山口県央消防指令センター運用開始

本年11月1日から、山口県央消防指令センターにおいて山口市、萩市、防府市の3市による消防通信指令業務の共同運用を開始します。

今回の特集では、消防、救急等の市民生活の安全を守る取り組みについてご紹介します。

☎ 消防本部通信指令課 ☎ 083-932-2603

### 消防の連携・協力による 災害対応力の強化

現在、3市の消防本部では、年間約2万9000件の119番通報を受け付けており、その内容は、複雑多様化し、件数も増加傾向にあります。そうした中でも、市民の生命・財産を守るため、消防や救急の需要に対し、迅速かつ的確に対応することが求められています。

また、人口減少社会において、将来にわたり消防行政サービスを維持していくため、令和3年度に本市と萩市、防府市の3市の枠組みにより、消防通信指令業務の共同運用に向けた基本事項に関する協定を締結し、このたびの運用開始に至りました。

### 山口県央地域の 消防・救急の指令塔

山口県央消防指令センターは、山口市役所本庁舎（山口総合支所）5階に整備し、山口市消防本部、萩市消防本部（阿武町含む）、防府市消防本部のエリアを合わせた、県内最大規模となる人口約34万人、面積約2000平方kmを管轄します。

管轄エリアの119番通報は全て、指令センターにつながります。指令センターではこれまで活用してきた通報者の位置を自動的に探知する装置や出動する車両を自動的に選別する装置に加え、最新のシステムを導入し、災害現場にいち早く消防車や救急車を出動させます。

### 指令センターからの お願い

救急車の出動件数は年々増加しています。その要因には高齢化の進展などさまざまなものがありますが、緊急性が低いと考えられる要請が含まれているのも事実です。救急車は限りある大切な資源です。どうか「適正利用」にご協力をお願いいたします。

ただし、救急車の要請を控えることが適正利用というわけではありません。「突然倒れて意識がない」「呼吸が苦しい」など、早急な搬送が必要な場合は、ためらわずに119番へ通報してください。本来に必要とされる方に救急車を届けるため、通報時には緊急度を判定するための質問をさせていただく場合があります。

私たちは「救える命を救いたい」という思いで勤務しています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



消防本部通信指令課  
土井 直樹 主幹